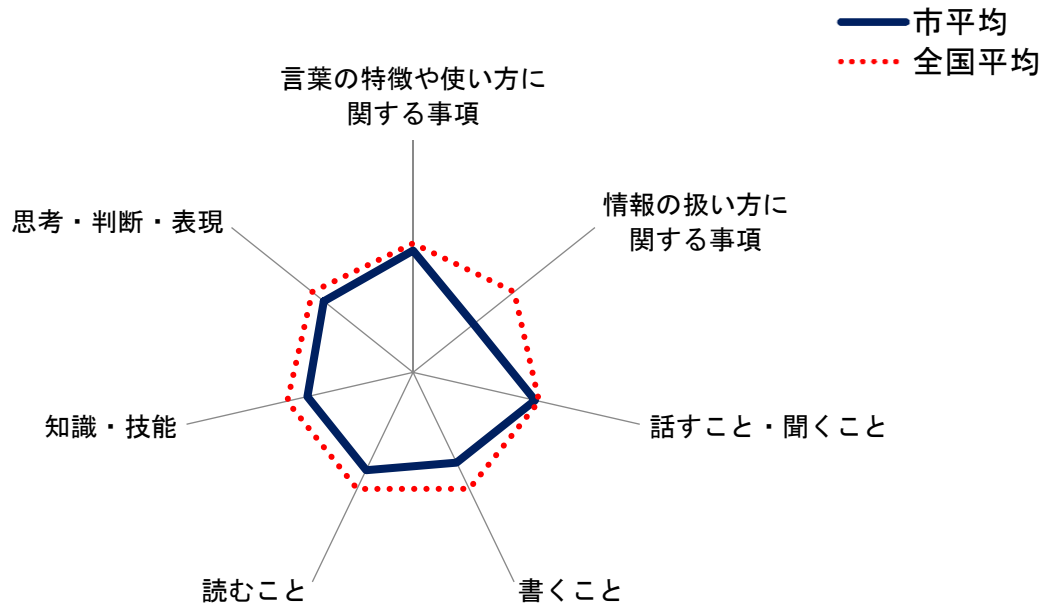
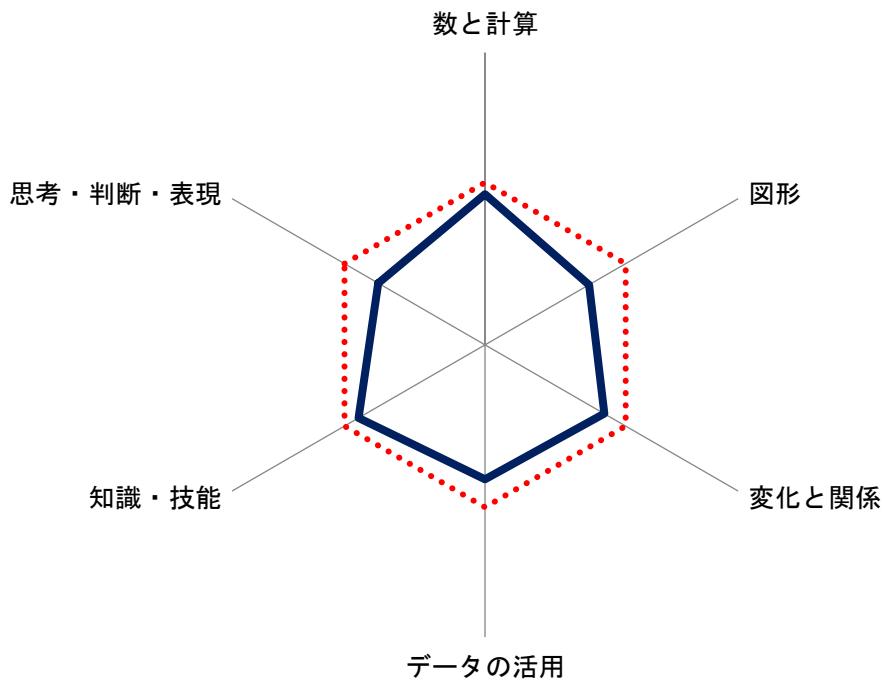


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

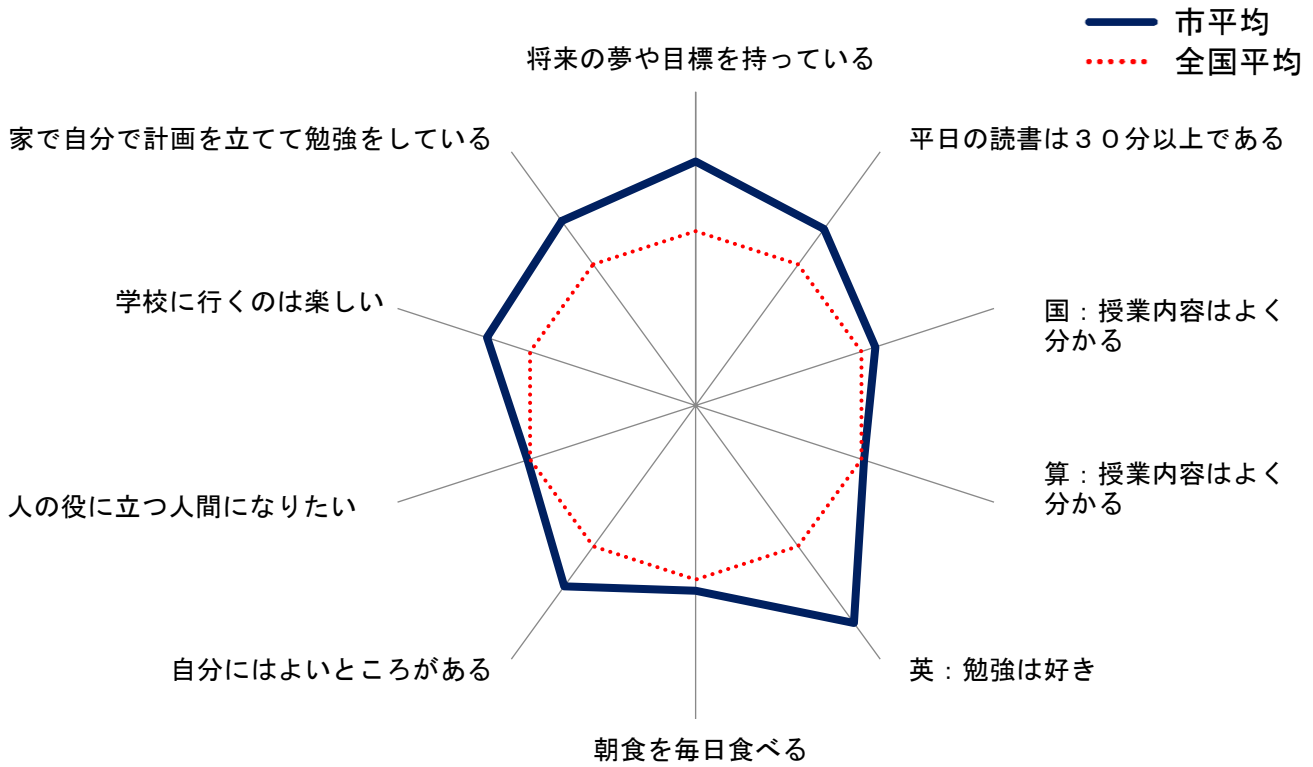
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数の全ての項目が全国平均とほぼ同じか下回っている。特に、国語の「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」、算数の「図形」の項目は大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行うことで成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や読解力の向上が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている全ての項目が全国平均を上回っている。特に、「英語の勉強は好き」の項目が全国平均を大きく上回っており、良好な結果である。また、前回調査で全国平均を下回っていた「平日の読書は30分以上である」の項目も、今年度は大きく上回っており、学力向上の基盤となる読解力の向上に向け、読書活動の充実に向けた取組の成果がうかがえる。引き続き、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図った授業改善を推進することが望まれる。